

ここが聞きたい

少子高齢化、交流人口増加の対策は



山田 仁議員

子育て支援策の今後は

山田 「赤ちゃん1000人プロジェクト」の推移と今後をどうする。

町長 平成24年度は、100人を超えると予測している。今後も他の施策と連動させて継続していく。

公園が少ないのでは

山田 子育て世代が、のびのびと触れ合える公園が少ないのではないかと。

健康福祉課長

めぐりや健康公園などは、各世代の方々に調整して利用いただきたい。今後、統合保育園などの隣接地の活用で検討していきたい。

雇用対策をどうする

山田 新卒者を含めた生産年齢人口の流出を防ぐためにどう対応するか。

町長

企業の海外展開などもあり厳しい環境にあるが、近隣自治体や、県とも連携して雇用の確保に全力をあげたい。

高齢者のスポーツ施設は

山田 今後、団塊の世代の利用も加わると、健康維持の施設充実に対して一段とニーズが高まると思うがどう

するのか。

健康福祉課長

すでに、パークゴルフ場増設の要望がある。これは、森林公園の総合的な整備計画のなかで検討していきたい。

高齢者の住宅施策は

山田 第5次総合計画のなかで、高齢者住宅の検討とあるが、進捗をどう



クリスマス発表会（あらと保育園）

また、介護付き共同住宅などへの考え方を伺う。

建設水道課長

今後、介護住宅を含め、町民ニーズの調査を行った上で検討したい。

交流人口増加の対策は

山田 交流人口の増加には誘客対策が必要。現状分析と今後の方策はどうか。

産業振興課長

平成23年度のイベント誘客数は35万1000人。県外が3割、うち宮城県が半数。誘客の中核を観光協会が担っている。スキルアップを積極的に支援していきたい。

山田 観光の重要拠点施設「パレス松風」の老朽化に、どのように対処する。

町長

財政的な優先順位の課題もあるが、必要性からみて、前向きに取り組みたい。